



優秀賞

島根県 株式会社 丸三  
『『エコプロジェクト』等による総合的社会貢献』事業



株式会社 丸三 代表取締役 社長  
白神文樹さん

## 子どものうちから環境問題に関心を持って

社内のチームでエコプロジェクトを推進

島根県出雲市を拠点として、島根、山口、兵庫の各県下に15店のパチンコホールを展開している「(株)丸三」では、子どもたちの未来のため、またさまざまな支援を必要とする人々のため、自分たちに何ができるのかを考え、地域と一体となった活動を通じ、より地域と密着した店舗づくりを行っている。

多様な社会貢献活動に取り組んでいるが、なかでも力を入れているのが、環境問題への対応である。丸三では、島根県地球温暖化対策協議会が中心となって展開している「しまねCO<sub>2</sub>ダイエット作戦」に協賛しているが、これは地球温暖化防止と循環型社会づくりをめざし、省エネや3R（ごみの減少・資源の再利用・リサイクル）に取り組むもの。

さらに丸三では、環境問題に対応するための独自の取り組みとして、「丸三エコプロジェクト」を推進している。これは県内の子どもたちに環境問題に対する興味や関心を持ってもらうため、環境問題について学ぶための場や機会を提供したいという発想から生まれたもので、県内の小中高等学校や特別支援学校が環境学習や環境保全活動を行う際の活動費などを補助するというものである。

活動費補助のための募集パンフレットの作成に当たっては島根県教育庁義務教育課環境学習担当者とは協議して内容を決め、また作成したパンフレットは同課と出雲市教育委員会の協力を得て、校長会の場で配布している。しかし、募集要項の作成から、申請受理、審査、助成決定、贈呈まで、事業にかかわる一連の業務は社員で構成されるプロジェクトチームが担い、文字通り、主体的な取り組みを実践している。

受給対象となる主な活動としては、ビオトープ(生態空間)の造成・修繕、環境教育に関する書籍の贈呈、樹木・種苗の贈呈、環境学習や環境保全活動にかかるバス代・施設入場料・講師料の負担などで、現在までに18件の申請を受理し、昨年度は14件を支援した(総額235

## もらうための機会や場を提供

ペットボトルキャップを回収しワクチンと交換する運動を呼びかけるチラシを作成

万4,279円)。助成を受けた学校では、活動終了後に所定の活動報告書を提出することになっているが、それとは別に、子どもたちや学校関係者などから感謝の言葉が多く寄せられている。

環境問題は、一朝一夕に解決できる問題ではない。日々の生活において、環境への負荷を少しでも減らすための努力をコツコツと積み重ねるしかない。子どものうちから自分たちが暮らす環境に対する問題意識を持ち、それを改善していくための活動を習慣化しておくことは、長い目で見れば、環境問題解決への大切な布石となる。その意味で、「丸三エコプロジェクト」は子どもたちの胸に環境問題解決のための一粒の種子をまく行為ともいえる。その種が、将来、さまざまところに大輪の花を咲かせることを願わずにはいられない。

### 陸上部所属選手による 陸上クリニックを毎年、開催

さらに同社では、社内の人的財産をうまく社会貢献に活用する実例として、同社陸上部に所属する日本記録



小学校に寄贈した地球環境に関する書籍



毎年開催している陸上教室「丸三陸上クリニック」

保持者などを講師とする陸上教室「丸三陸上クリニック」を毎年、開催している。この事業は高校生以下を対象とし、トップアスリートの技術や競技に対する心構えを学ぶ機会を子どもたちに提供することで、島根県から世界を目指すアスリートの育成に寄与しようというもの。

これらのほかにも、平成20年に開所した財団法人日本盲導犬協会島根あさひ盲導犬訓練センターの取り組みを支援するための寄付や普及啓蒙活動に協力している。また、店内で出るペットボトルのキャップやアルミ缶のプルタブを回収し、キャップはワクチンに、プルタブは車いすに交換する活動にも取り組んでいる。いずれの活動も、継続することでますますその輝きや実効性を高めていくものだけに、今後の活動にさらに期待したい。